

第69回現代歌人協会賞選考経過

吉川宏志

前年に刊行された協会員以外の第一歌集から、特に優れたものを推薦する会員アンケートを今年の初めに行い、二〇一票（内無効票七票）が投じられ、六十一冊に票が入った。選考委員七名（石川美南・内山晶太・梅内美華子・春日

現代歌人協会会報 183

いづみ・駒田晶子・中沢直人・吉川宏志）は、アンケート結果を参考にしつつ、候補に残すべき歌集を五冊ずつ推薦した。十一冊が上がったが、四票以上入った五冊を最終候補とすることを、選考委員全員の賛成で決定した。なお、会員アンケートで十票以上獲得した作品は、すべて最終候補に残ることになった。

この五冊について、四月十日（木）の午後四時から六時まで、東京・喜山倶楽部において、選考委員七名による真摯な討議が行わ

れた（以下、作者名五十音順）。

・金田光世『遠浅の空』（青磁社）
石のことを忘れるあひだ過ぎてゆく時間が石に与へる浮力

雲と雲の呼び合つてゐる静けさに桜かたちを崩しつつ咲く

自然界の事物を通して、生の浮遊感を捉え、独特の美が生まれている。空想的な歌も、他の人には知覚できない世界の理を描いているように、説得力がある。

内向きすぎる、とりとめのない印象を受けるという意見もあった。

・斎藤美衣『世界を信じる』（典々堂）
修理されるために届きし抱つ子紐 よその暮らしのにほひをさせて

ぬいぐるみ型の爆弾あるといふ人は抱くもの、抱きしめるもの

抱つ子紐を作る会社の社長という立場から、育児の現実、男性社会、海外の戦争など、さまざまな主題を歌い、切迫感がある。少女期の闘病の歌に胸を打たれる。

実人生が中心になっており、表現の新しいさの上では物足りないという声もあった。

・久永草太『命の部首』（本阿弥書店）
そりやそうさ口が命の部首だから食べてゆく他ないんだ今日も採算と命の値段のくらき溝 鶏の治療はついで習わず

獣医師の仕事を主な題材として、命の価値や人間中心主義について、独自の視点から切り込んでいる。機知的な表現も多いが、動物の命に触れている身体感覚があり、言葉に温もりと新鮮さがある。

擬人化した表現がやや多すぎるという批判もあった。

・堀静香『みじかい曲』（左右社）
いい人と結婚したねと言われてもへんな真顔をたらぬき通す抱き合うときの胸の分厚さ出会う前からあなたはあなたの身体だったこと

飄々としたユーモアや、不思議なリズム感がある。現代的な口語

書店）

の歌で、一見軽い感じもするが、愛する人たちを失いたくない不安感や、自分が生きる町に対する柔らかな愛着が伝わってくる。

・丸地卓也『フィルム』（角川書店）
永遠に上りつづける階段のだまし絵のなかの勤め人たち

名を抜かれ症例になる患者おり故郷の海はわれしか知らず

医療の仕事に従事し、患者の個人情報の問題や、現代社会の徒労感などを、理知的な表現で歌っている。文体にやや硬さがあるが、事象から冷静に距離を取り、達観したかのように歌っているところに、強かな個性が存在している。

最終決定の議論では、過半数の選考委員が『命の部首』を一位に推した。しかし、複数の選考委員から、『命の部首』の歌が分かり易すぎるという指摘があり、明解ではないけれども『遠浅の空』の純粹な詩性を大切にしたいという意見の表明があった。主題性ばかりが選考の基準になつてはならないという主張といえよう。

『遠浅の空』は、批評の言葉がまだ追いついていないところがあ

る。生の不気味さや不安感を漂わせた歌もある。今後、さらに批評されることで、魅力が深く論じられることも期待できる。

対照的な二作品であり、両者を顕彰することに大きな意義があると、全員の選考委員が認めたので、同時受賞が決定したのである。

歌集『命の部首』
久永草太（ひさなが・そうた）
2024年9月24日（本阿弥書店）

【略歴】1998年、宮崎県宮崎市生まれ。竹柏会「心の花」所属。第34回歌壇賞・第23回心の花賞。

歌集『遠浅の空』
金田光世（かねた・みつよ）
2024年4月29日（青磁社）

【略歴】1981年、静岡県浜松市生まれ。「塔」所属。第12回塔短歌会賞受賞。

第69回現代歌人協会賞

歌集『遠浅の空』
金田光世（かねた・みつよ）
2024年4月29日（青磁社）

【略歴】1981年、静岡県浜松市生まれ。「塔」所属。第12回塔短歌会賞受賞。

歌集『命の部首』
久永草太（ひさなが・そうた）
2024年9月24日（本阿弥書店）

【略歴】1998年、宮崎県宮崎市生まれ。竹柏会「心の花」所属。第34回歌壇賞・第23回心の花賞。